

探究活動についてのアンケート速報 2021

日本理化学協会顧問

菊池正仁

例年本協会の調査部が行ってきた教育現場の状況についてのアンケートが昨年は実施ができない状況と聞き、顧問として何とか継続したいとの思いから事務局の扱いという形で係として私が担当して実施しました。その関係もあり、今年も探究活動についての部分は、私が担当させていただきました。

現場の先生方には大変ご迷惑をおかけしましたが、今年は全国すべての支部から 424 名の先生からご意見を頂きました。特に詳しい整理と分析にはかなりの時間がかかりますので今回はとりあえず概況についてご報告いたします。

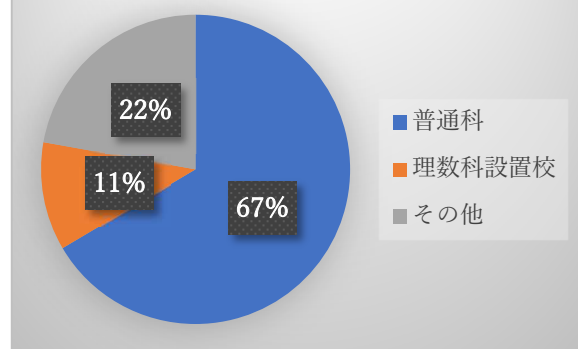
回答頂いた先生方の学科別の分布は右の様になり、普通科が 282 名、理数科設置校が、48 名、その他が 94 名でした。学校数に整理しなおすと、全回答校は、345 校で、普通科が 225 校、理数科設置校が、37 校、その他が 83 校でした。

令和 4 年からの新学習指導要領の本格実施を踏まえ、大きな課題として探究活動をどのように展開していくのかという点が大きなテーマであると考えました。平成 21 年告示の新学習指導要領では「理科課題研究」が選択科目として理科に置かれてましたが、設置は数パーセントに留まりました。しかし、学校設置科目や総合的な学習の時間などを活用した探究学習はこの数年確実に増え、本会の調査でも平成末には全校の約 1/4 程度の学校が取り組みを行っていました。

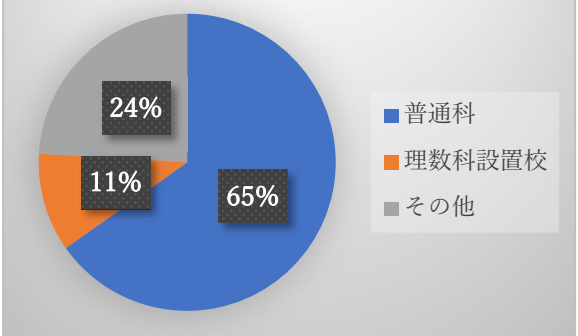
昨年お願いした調査でも、調査した 233 校についての取り組みを調べてみると(複数回答可)、約 1/3 の学校が探究活動に取り組んでいることがわかりました。

今年のアンケートについては、まず、**来年からの具体的な取り組み**についてお答えいただいた内容を学科別に整理して速報として以下に報告いたします。

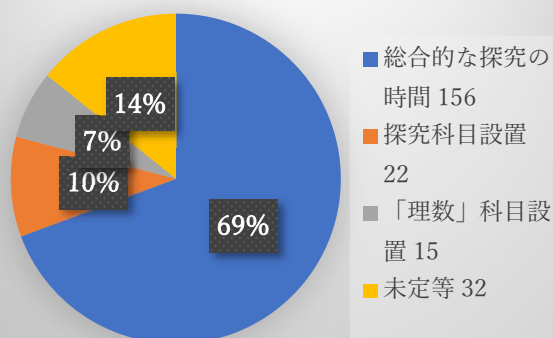
学科別回答者



学科別回答校数



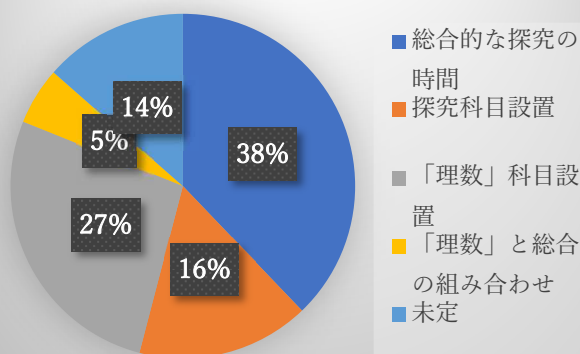
普通科



普通科では、昨年の調査に比べて総合的な探究の時間で探究活動を実施するという学校が増えており、選択教科「理数」の設置は、7%にとどまっているが、学校設定科目としての探究科目を合わせると、17%となる。

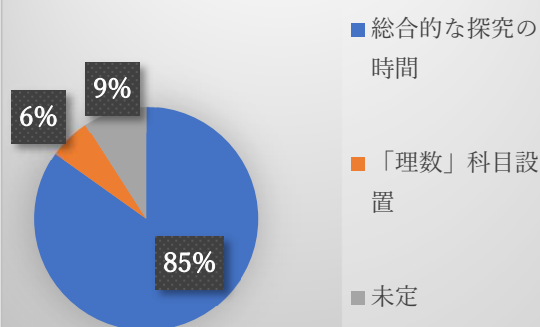
一方、**理数科設置校の普通科での探究活動**では、かなりの学校で「理数」又は、それと同等の学校設定探究科目を設置している事がわかる。

普通科(理数科設置校)

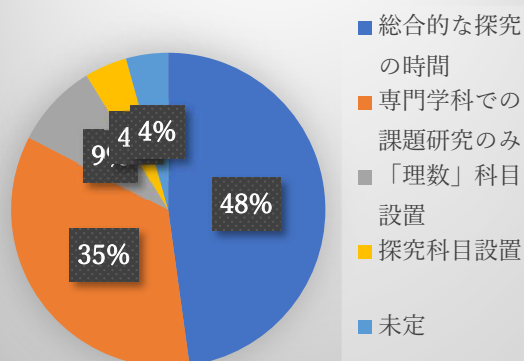


また、**総合学科**では、ほとんどの学校が総合的な探究の時間(28/33)、**工業科**では、専門教科での取り組みのみが 8 校、総合的な探究の時間が 11 校で「理数」設置校は 2 校・学校設定科目としての探究教科の設置が 1 校であった。(全 23 校未定 1)、**特別支援学校**では、11 校中 7 校が総合的な探究の時間。等の結果であった。但し、どの学科でも必ず「理数」を設置している学校が見られたことは注目される。

総合学科



工業科



最後に、今回のアンケートでは来年度からの探究の取り組みが答えにくかった点があり、著者として HP 等を参考として整理させて頂いた点があることをご了解ください。また、一部の学科について今回は報告を省略したことをお断りしたい。まだ整理していない部分も多くあり、今後全体的な報告を作成して協会の HP 等で報告させていただく予定です。